



12月の学校朝会 ～もう1回がんばる！～

12月7日(木)の学校朝会では、エジソンの話を中心にあきらめないことが「なりたい自分につながる」という話をしました。

電球を発明したと言われるのは、エジソンです。しかし、最初に発明したのは、ジョセフ・スワンという人だそうです。エジソンよりも1年前に電球の発明に成功したのだそうです。なぜ、スワンよりもエジソンが有名なのでしょうか。実は、スワンの電球は、短い時間しか点灯しませんでした。エジソンの電球はスワンの電球の25倍の1000時間も点灯し続けることができました。つまり、エジソンの実験により、世の中に電球が広まることになったからのようです。エジソンは、電球を長い時間点灯させるために、1万回もの実験をしたのだそうです。

1万回の実験とは、すごいですね。当時インタビューで、「1万回失敗しても実験を続けたんですね。」と質問されたエジソンは、「いやいや、この方法では、電球は光らないという発見を今までに1万回してきたのだ。それは、失敗ではなく、その方法でうまくいかなかったことが分かったから、成功なんだよ。」と言ったそうです。

また、次のようなことも言っています。「私たちの最大の弱点は、諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう1回だけ試してみることだ。」と。だから、エジソンは電灯がつかなくても、あきらめずに「もう1回やってみよう」と実験を繰り返したんですね。

さらにこのようなことも言っています。「全ての可能性を使い切ってしまった時、こう思い出すんだ……まだ、使い切っていない。」と。エジソンが実験を1万回も続けることができた秘密は、この気持ちを持っていたからなんですね。うまくいかないことがあった時、「あ～やめた」ではなく、「まだ、使い切っていない」と挑戦すること。そうすることで、「なりたい自分」に一步近づくことができるんですね。校長先生もみんなの何倍も生きていますが、「まだ、使い切っていない」そう思いながら挑戦していきたいと思えます。

演劇鑑賞会

6日(水)は、健軍文化ホールで演劇鑑賞が行われました。午前は、1, 2, 3年生、午後は4, 5, 6年生と分かれての観賞会でした。転回社さんによる「みんなで演じるミュージカル『三つの指輪』」という演目でした。「みんなで演じる」とあるように、みんなで手拍子をしたり、かけ声をかけたり、一緒に歌ったり…。あつという間の1時間でした。芥川龍之介の未完の児童文学と言われている「三つの指輪」というお話でしたが、みんなの心の中には、どのように残ったでしょうか。最後の感想発表では、「友達って大切だと思いました。」「自分は、三つの指輪はいらないと思いました。」等を伝えてくれました。ぜひ、ご家庭でもどんなお話で、どんな感想を持ったか、聞かれてみてください。

